

令和5年度 年間授業計画

東京都立南葛飾高等学校 定時制課程

教科・科目	数学・数学A	2単位	対象学年・組	3学年1・2組
教科書 副教材等	改訂版 新 高校の数学A(数研出版)	教科担任	五十嵐	

指導目標	「順列と組合せ」「確率」について、中学校までの数学およびこれまで学んだ数学の知識を確認しながら、具体例を通して数学的なイメージを持つことができるように心がけ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。そして、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにし、創造する力を高める。
------	---

学期	月	指導内容	時数	指導上の留意点
1学期	4	第1章「順列と組合せ」(3節 集合) 1 集合と要素の個数	8	<ul style="list-style-type: none"> ・数学における集合とは何か、その基本的な考え方、記号の意味を理解し、集合の問題を解けるようにする。 ・数学における命題とは何か、その基本的な考え方とその証明について理解する。 ・順列と組合せの違いを理解し、具体的な問題について場合の数を求めることができるようにする。
	5	☆第1章の1の補完として 「命題と証明」 1 命題 2 いろいろな証明法	8	
	6	第1章「順列と組合せ」(1節 順列) 1 順列 第1章「順列と組合せ」(2節 組合せ) 2 組合せ	8	
	7	1学期の復習	6	
2学期	9	第2章「確率」(1節 確率とその基本性質) 1 事象と確率 2 確率の計算	8	<ul style="list-style-type: none"> ・確率について、その考え方を理解し、具体的な事例に対して、確率を計算できるようにする。 ・「独立な試行」について理解し、より複雑な確率の計算をできるようにする。 ・確率が様々な人間の生活の中で利用されていることを知り、確率に対し関心を深める。 ・問題演習を通じて、確率の理解を深める。
	10	第2章「確率」(1節 確率とその基本性質) 3 独立な試行と確率 4 期待値	8	
	11	☆第2章の復習(問題演習)	8	
	12	☆2学期の復習	6	
3学期	1	☆第1章と第2章の復習(演習問題)	5	<ul style="list-style-type: none"> ・順列、組合せの違いを理解し、それぞれの場合の数を求めることができる。 ・確率の意味を理解し、それぞれの確率の問題が解けるようにする。 ・1年間の数学Aで学習した内容を復習し、解く力が向上することを目指す。
	2	☆1年間の学習の復習(問題演習)	4	
	3	学年末考査	1	

評価の観点・ 方法	授業への取り組み・課題プリントの提出・定期考査の成績・出席等を総合的に評価する。
--------------	--